

# ジェネラティビティで紡ぐ 重層的な地域多世代共助システムの開発

研究代表者：藤原 佳典

(東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム研究部長)

実施者・協力者： 東邦大学、桜美林大学、日本大学、北区健康福祉部、和光市保健福祉部、  
川崎市多摩区役所地域保健福祉課、株式会社AsMama

実施地域： 東京都北区、神奈川県川崎市多摩区、埼玉県和光市

## 背景

- ・ 少子高齢化による財源不足に伴う安定的施策の維持困難
- ・ コミュニティ弱体化による安全・安心な暮らしの維持困難

## ● 市民間の潜在的世代間対立

### 課題 1

情緒的支援の不足

### 課題 2

社会参加機会の不足

## ● 行政施策の限界

### 課題 3

手段的支援の不足

### 課題 4

生活基盤支援の不足

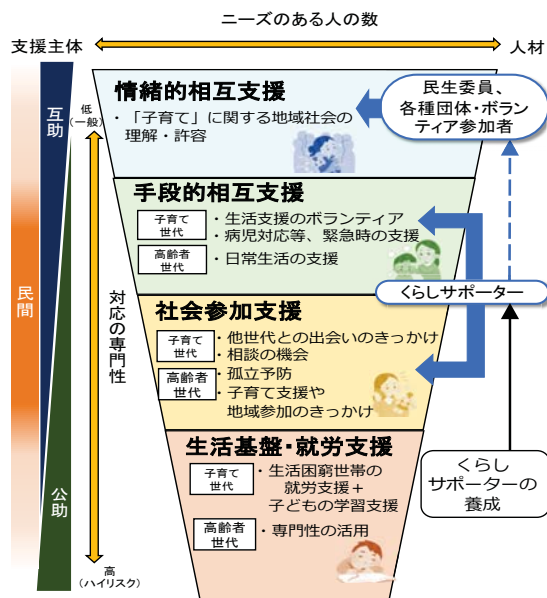
## プロジェクトが目指すもの

「子どもの健やかな成長の  
喜びを全ての世代が共有  
できるまちづくり」

＜明らかにしたいこと＞

1. 世代間の信頼感は、緩やかなサポートネットワークの形成により高まるか。
2. 子育て支援と高齢者の生活支援ニーズを互助のシステムにより解決できるか。
3. 多様な多世代交流機会は、共助やネットワーク形成につながるか。
4. 生活困窮家庭への就労支援は、生活基盤の改善につながるか。

## プロジェクトにおける持続可能性、多世代共創



### ①多世代挨拶運動(キャンペーン)

世代間の緩やかなサポートネットワーク形成

### ②Webマッチングシステムの開発と実装

子育て支援と高齢者の生活支援ニーズの充足

### ③多世代交流の場の開拓と運用

多様な多世代交流の機会の増加

### ④暮らしサポーター(仮)の養成

②のマッチング支援と③の企画と運営

### ⑤生活基盤・就労支援

生活困窮家庭の生活基盤の改善

## 文献レビューと調査対象事例の抽出から明らかになったこと

### 手続き

先行事例・研究の検索

調査対象事例・論文  
の抽出

調査対象事例  
の決定

### 挨拶運動

“長期的な展開計画を立てることが重要”、  
“グッズ作成やイベントを通じた活動の見  
える化が必要”、“効果検証の不足”

### 生活支援サービス

“マッチング業務の負担”、“担い手不足”、  
“介護保険適用外のニーズが高い”

### 生活基盤支援

“高齢者ボランティアの活躍の可能性は、  
学習支援・居場所支援の場に”

## 今後の計画

1. 協議体の立ち上げと運営
2. 多世代挨拶運動（キャンペーン）
  - 学校や地域のステークホルダーと目的の共有
  - キャンペーン・PRグッズの作成
3. Webマッチングシステム
  - プロトタイプ開発と試行
  - 暮らしサポーターの研修案の作成
4. 生活基盤・学習支援
  - 現状と課題の整理

## 社会実装・成果の活用イメージ

### 多世代挨拶運動

他世代との交流頻度増加、  
信頼感向上

### 多世代交流の場

多世代コミュニケーション  
・交流頻度・信頼感の向上

### Webマッチングシステム

- 登録者の困りごと軽減
- 生活支援充足感向上

### 生活基盤・就労支援

- 就業による地域定着促進
- 学習支援での世代間交流

### 中長期アウトカム

